

令和8年度「京都市立元町小学校教員公募」

募集要項

○令和7年度 元町小学校学校教育目標

自ら考え、夢や目標に向かって
積極的に行動する子の育成

～進んでチャレンジし、対話を通して学びを深める元町っ子～

小規模でアットホームな元町小学校で
一緒に元町教育を進める教員を募集します！

◎下記のような教員の方に来ていただけすると嬉しいです！

★子どもに温かく寄り添い、一人一人の思いや考えを大切に
してください方

★子どもとともに歩み、自らも学び発信しようとされる方

★本校の育成を目指す資質・能力「対話力」「問題解決力」を
高めるために、熱心に取り組んでくださる方

〒603-8113 京都市北区小山西元町14 メール③

電話番号：(075) 491-7690

FAX：(075) 491-7921

◎募集対象

次の要件①～③のいずれも満たす者であることを最小限の条件とする。ただし、次の(1)～(3)に該当する者は除く。

- (1) 令和7年11月1日現在、長期にわたり休暇休務を取得している者（妊娠していることが判明した場合もこれに準ずる）。
- (2) 教員公募制度、希望転任制度により現任校に異動した者。
- (3) 異動を希望しない者。
 - 1 京都市立学校に勤務する教諭（小学校・中学校・小中学校の副教頭を含む。ただし、主幹教諭・指導教諭、養護教諭及び栄養教諭は含まない（教頭、主幹教諭、指導教諭及び総合支援学校の副教頭への令和8年度の被推薦者も同様に取り扱う）。以下同じ。）で、本年度末において、本市採用6年以上かつ2校以上での勤務経験を有する者。
 - 2 本年度末において現任校での勤務歴3年以上になる者。（中学校および小中学校の後期課程に勤務する教諭で、初任者研修を担当するため拠点校指導教員として異動した者についてはこの要件を問わない。）
 - 3 本応募について現任校校長の理解を得ている者。
この項目で定める年数については、休職・育児休業の期間を含めない。
なお、現任校と異なる校種への応募を希望する場合は、希望校種に必要な普通免許状の所有または、令和8年4月1日までに取得見込みであることを要する。

◎募集人数 1名

◎求める人材

- 1. 学校教育目標の具現化にむけて挑戦や努力、協力を惜しまない先生。
- 2. 子どもを大切にし、学校運営に積極的に関わっていただける先生。

◎募集の手続

- 1 別紙「志願書」（様式1）に所要の事項を記入の上、「自己アピール書」（様式2）を併せて提出してください。
- 2 募集期間は、令和7年11月4日（火）～11月18日（火）です。
- 3 提出先は、現任校を経由して本校校長まで提出してください。

◎選考及び結果通知

- 1 書類選考及び面接を実施します。
- 2 面接の日時・結果等については、別途現任校の校長を通じて連絡します。
結果通知予定は、令和7年12月3日（水）です。

令和7年度元町小学校学校経営方針



令和7年度 元町小学校の研究について

育成を目指す資質・能力:「対話力」「問題解決力」

【研究主題】5つの「したい」を高める授業づくり（下部にある※を参照ください）

～発問が教職員と児童をつなぐ「対話力」「問題解決力」を高める授業の構築～

【研究仮設】主体的・対話的で深い学びに基づく授業改善を図り充実させ、対話力や問題解決力を高めていくには、いかに教師が学びのコーディネーターやファシリテーターとして授業をデザインし進めていくかが重要だと考える。そこで、「発問」に主軸を置いた授業のデザインを考え、実践して評価することで、対話力や問題解決力を高めていける授業につながっていくと考える。

※知りたい⇒考えたい⇒確かめたい⇒まとめたい⇒生かしたいといった子ども主体の対話サイクルを意識した授業づくりを大事にしています！

【今年度の研究主題に基づく主な取組】

- ① 基本的な学習ルールの確認
 - ・ノートの書き方ガイドラインを示し、ノートに自分の学習の足跡を残せるようにする。
 - ・話し方、聞き方の提示を行い、話す力・聞く力を育てる。
 - ・めあてに沿って学び、学習をふり返る流れを定着させ、学びのサイクルを意識させる。
- ② 対話が活用できるような「しきけ」を基盤とした主体的・対話的で深い学びの充実
 - ・より対話的な授業を目指すために、対話の場面を指導者が意図的にしかけていく。
 - ・対話サイクルを軸に子どもたちに学習の流れを示し、指導者からのしきけを大切にする。
- ③ ふり返りの視点の提示
 - ・育成を目指す資質・能力を育むために、発問や板書といったしきけが明確になるような指導案の形式にし、子どもの思考の流れがわかるような形にしていく。
 - ・事後研究会では、授業の視点を絞ることで活発な意見が出やすいようにする。
- ④ 対話サイクルを意識した指導案から対話中心の授業づくりへ
 - ・対話サイクルを意識した単元デザイン（出会う・追及する・生かす）・授業デザイン、板書デザイン、「～したい」を高める工夫を意識した指導案から、対話力の向上を目指す。

研究教科としては、主に算数・理科を中心に取り組んでいます！

※お問い合わせは、京都市立元町小学校(075)491-7690 へご連絡を！